

## 教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成25年1月25日(金)午後2時30分～午後4時30分
- 2 場 所 伊東市役所 4階 中会議室
- 3 出席者 1番 杉田 純子君 2番 田中 智海君  
3番 上村 昌延君 4番 内山 義夫君
- 4 参 与 教育部長 鶴田 政利 次長兼教育総務課長 鈴木 健支  
教育指導課長 小田 靖久 幼児教育課長 泉 将好  
生涯学習課長 堀井 裕三
- 5 書 記 教育総務課長補佐 村上 千明 主事 杉山 香織

### 6 会議の経過

委員長：ただ今から、伊東市教育委員会1月定例会を開会します。それでは、はじめに、教育長の報告をお願いします。

教育長：「1月教育委員会教育長報告事項資料」に基づき次の事項について報告がされた。

- 1 2月21日 教育部予算市長ヒアリング
- 2 3日 伊東ヴェルディ・クリスマスコンサート
- 2 7日 市町駅伝解散式
- 2 8日 仕事納め
- 1 月 4日 仕事始め、新春合同賀詞交歓会
- 6日 消防出初式
- 9日 人事校長面接
- 1 0日 年賀状デザインコンクール表彰式
- 1 3日 成人式
- 1 6日 幼稚園長面接
- 1 7日 校長会、教育委員・校長懇談会、幼稚園教頭面接
- 1 8日 教職員評価校長面接、東小読み聞かせ参観
- 2 0日 オレンジビーチマラソン

## 23日 保育園長面接

委員長：ありがとうございました。ただ今の教育長報告について何か質問等がございますか。

委員：成人式での各校の校歌斉唱は良い取り組みであったが、市外等からの参加者についても考慮してほしい。

委員長：全員が参加できるものを考えた。市外や私立等の参加者がいないことを確認した上で、今年は校歌にしたが、今後の課題としたい。

委員：市の歌を制定するのもひとつの考えである。学校生活の折々に歌うことで、誰もが知る歌となるだろう。

委員長：その他何かございますか。

(意見なし)

委員長：委員からの報告がありましたらお願いします。

(報告なし)

委員長：それでは本日の議事に入ります。

委員長：議決事項です。

教議第7号「伊東市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について」を議題といたします。説明をお願いします。

(泉幼児教育課長から資料に沿って説明)

委員長：ありがとうございました。ただいまの説明につきまして御質問、意見等ございますか。

委員長：今までの監査はどのようにしていたか。また、今後どのように監査するか。

泉幼児教育課長：今までの監査は、県が実施し、必要があれば市が立ち合っていた。権限移譲により、今後は市が実施することになった。社会福祉協議会、いこいの里、心友会及び川奈愛育クラブを運営する子ども未来計画の4法人を、関係する社会福祉課、高齢者福祉課及び幼児教育課で調整し、それぞれの所管する法人以外の監査をしていくことになる。

鶴田部長：監査を担当する部署を設けるのは難しいため、抱えている法人が多い社会福祉課が中心となり、互いを監査し合うことになる。

委員長：他になにかございますか。

(意見なし)

委員長：この件について確認します。教議第7号「伊東市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について」は、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

委員長：委員の皆様から承認が得られましたので、教議第7号については原案どおり決定しました。

委員長：以上で議決事項は終了です。次はその他です。

「各課からの業務報告について」を議題とします。説明をお願いします。

鈴木次長兼教育総務課長：教育総務課の報告をする。

校務用パソコンの1人1台導入は、中学校で完了となった。小学校は1月28日に入札を行い、2月末までに納入し、年度末までに設定をする。

学校給食運営計画については、栄養士及び学校長、福祉文教委員会、市P連、東小PTA及び川奈小PTAへ順に説明している。2月には再度、臨時調理員及びパート調理員へ説明をする。

インフルエンザについては、小中学校で今週、計90人前後のり患者が報告された。現在は学級閉鎖をしている学校はない。宇佐美小学校では登校時間を遅らせる対策を取っている。また、八幡野小学校で1月17日に教職員を含む28人の欠席者が出たため、保健所に連絡するとともに、検査を実施し、検査対象者からノロウイルスが検出された。保健所の指導の下、消毒を行った結果、感染者が拡大することなく、終息に向かい、現在欠席もなくなった。家庭にも注意喚起の通知をしている。

体育館の耐震補強工事は、池小学校で完成検査を終えた。富戸小学校では2月中に完成検査を実施する予定である。なお、富戸小学校の仮囲いが倒れた件については、昨日、富戸小PTA役員から市長へ要望書が提出された。

委員：インフルエンザにり患した教員はいるか。

小田教育指導課長：報告はないが、何人かり患している。

委員：教員という立場上、特に健康には留意してほしい。

小田教育指導課長：教育指導課の報告をする。

問題行動、不登校、いじめについては、今月は、ほぼ横ばいの件数となった。いじめは9月に比べると解消率が高まっている。今後も指導を徹底していく。

体罰が全国的に問題となっている動きを受け、市で独自に調査を行ったところ、4月から1月当初にかけて小学校3件、中学校3件の計6件報告があった。小学校の1件は、教員が児童へ発した言葉についての保護者から苦情があったもので、残り5件は頭をげんこつや平手で叩いたというものであった。いずれも子どもと保護者に謝罪をしている。また、今までに体罰をしたことがある教員は、小学校で13人、中学校で10人であった。内容は、主にげんこつや平手で叩く、突き飛ばす、廊下に立たせるというものである。小学校では授業中や休み時間、中学校では部活動中に多い。どのケースも、単発で持続性はない。保護者から体罰についての問い合わせは、小学校で8件、中学校で8件あった。従わなかった、反抗した、取り押さえるため、他の児童生徒へ手を出す、教員に対しての暴力など事情は様々であるが、理由にはならない。体罰という指導方法は間違っており、教育長から校長会へ投げかけ、話し合っていく。

委員：同一教員の複数事例はあるか。

小田教育指導課長：ない。

委員：言葉の暴力については、子どもとの信頼関係が希薄になっていると考える。指導であっても受け取り方によっては暴力と感じてしまう。指導と体罰の境目は難しい。努力しないと減るものではない。徹底してほしい。

委員長：校長は調査前にすべてを把握していたか。

小田教育指導課長：把握しきれなかったものもある。

委員長：校長は常に細かく把握すべきである。また、教員は子どもたちと信頼関係を築くことを望む。今後も、年に何回かは調査してほしい。

泉幼児教育課長：幼児教育課の報告をする。

平成25年度の保育園措置状況について、保育園には879人の申込みがあり、3回の措置会議をした。保護者には2月7日頃に結果を通知する。1～2歳児を中心に、待機児は10人以下となる見込みで、平成24年度当初の15人から減少となる予定です。

インフルエンザについては、現在、保育園で12人、公立幼稚園で19人の

り患者が報告されている。湯川分園では6人がり患したため、昨日と今日にかけ年長組の学級閉鎖をしている。9日から15日にかけて、宇佐美保育園で20人がり患したため、保健所へ報告した。現在は落ち着いている。なお、職員については保育園1人、公立幼稚園で1人の報告がある。

委員長：待機児についてはどうするか。

泉幼児教育課長：無認可の保育園へ入園することもあれば、そのまま自宅等で保育している子どももいる。今年度については、1月1日現在30人程度の待機児がいる。年度当初から年度末にかけて増える傾向がある。

堀井生涯学習課長：生涯学習課は特に報告することはない。

委員長：よろしいでしょうか。その他で何かございますか。

堀井生涯学習課長：成人式は592人中467人が出席した。約170人の協力者により、厳粛の中にも温かみのある式典になった。1月30日に最後の実行委員会が行われる。

オレンジビーチマラソンには2509人が参加した。参加者へ入浴券を配布したが、17施設のホテルや旅館に市外参加者547人が入浴した。ホテルや旅館も前向きに取り組んでくれたため、来年度も同様に実施したい。

1月27日にライオンズクラブの援助により、善行賞の表彰式を行う。個人23件56人、団体4件を表彰する。

2月3日は第41回伊東駅伝競走大会を開催する。全体で52チームがエントリーしている。なお、記念大会として県下上位6チームに招待依頼をしている。

市史編さんについては、市史の別編「自然と災害」の原稿案が出来上がり、市長に報告した。大震災を受けて作成したものではなく、発足した時から、計画を進めていたものである。3月初旬に発刊予定である。

委員：オレンジビーチマラソンの参加者が多いが、スタート時に問題はなかったか。

堀井生涯学習課長：ファミリーの部の参加者が重複するため、参加者数は多くなる。時間差スタートについては、今年は5キロで30秒だったが、来年は1分程度の差をつけることも検討し、更なる安全を図りたい。

委員：申込みを断った人はいるか。

堀井生涯学習課長：いない。

小田教育指導課長：平成24年度の教育奨励賞授与式及び発表会を2月20日に行う。  
現在審査中である。また、卒業式については3月19日の午前小学校、午後中学校で行う。

委員：市P連と伊豆新聞が主催する2月9日の橋本聖子さんの講演会の後援はしないのか。

堀井生涯学習課長：後援の依頼がない。

委員長：平成4年に、週5日制に伴い、陸上記録会、水泳記録会、音楽発表会が諸経費、人員、会場確保の問題を理由に学校行事から廃止された。陸上カーニバルや、J Cサッカー大会などの形で運動行事は残っているが、音楽発表会については完全になくなってしまっている。なお、熱海市や東伊豆町ではそれらの行事の廃止をしていない。見直し検討会を行ってはどうか。

教育長：学校行事に気をとられ、学級指導が疎かになるのではないかという危惧から廃止したと記憶している。その結果として、学力が伸びることが期待されたが、伸びることはなかった。また、教師の力量も衰えていったように思う。廃止したものを元に戻すには何倍もの力が必要になるため、復活に至っていないのが現状である。

委員長：子どもたちが後に自身の努力を振り返る機会が失われるように思う。また、教員の熱血をもう一度取り戻したい。

委員：現場から復活の声がほしいところであり、また、現場からの声がないと難しい。

委員：情熱を持ち、核になる人がいないと難しいだろう。

教育長：校長がビジョンを持たなければ難しい。情熱を持つ教員が増えていくことを望んでいる。教育委員は教員の気持ちのどこに火をつけていけばよいか考えていく。

委員長：その他、何かございますか。

(意見なし)

意見も無いようですので、本日の審議事項は、以上を持ちまして終了します。

委員長：今後の日程について確認します。

2月定例会につきましては、2月18日（月）午後2時30分から、4階中  
会議室

3月定例会につきましては、3月21日（木）午後2時30分から、4階中  
会議室

委員長：ご苦労さまでした。以上で伊東市教育委員会1月定例会を終了します。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

委員長 杉田 純子

委員 田中 智海

書記 杉山 香織